

巨樹の会の活動

石川県巨樹の会

田中敏之

1. 石川県巨樹の会の設立

昭和63年11月、県内の巨樹、巨木林、名木等（以下「巨樹等」という。）の保護普及をはかるために、団体を設立しようという案が、現里見会長から提案され、啐啄同時といおうか、早速、県庁OB達の同意を得た。

この運動を県内に広く宣伝してくれたのは、新聞、テレビ、ラジオなどのマスコミで、平成元年4月22日に198名の賛同者を得て設立総会を開催することができた。

会の目的は、豊かな緑づくりの一環として貴重な巨樹等の保存と、その環境整備、並びに樹の文化等について普及活動を行うという事になっている。

事業としては、(1)貴重な巨樹等の保存のための意見具申と広報活動 (2)貴重な巨樹等の保護育成技術並びにその環境整備に関する調査研究と指導 (3)巨樹等の文化的価値、工芸的価値についての調査研究と普及等となっている。

これに基づいて具体的に次の事を進めている。①保護普及を図るための会誌「巨樹いしかわ」(B5版・18頁)を2月と8月に発行すること。②巨樹等に接して、自然や歴史を学ぶための巨樹探訪会を、春と秋の2回実施すること。③巨樹等に関する講演会、研修会等の開催(年1回)。④巨樹等の保護診断の実施。⑤その他、巨樹等に関すること等がある。

なお、これらの事業を円滑にすすめるために、自然環境、樹木診断、環境造園、木材、編集部門に専門委員を3～4名あてお願いし現在11名となっている。

2. 第3回巨木を語ろう全国フォーラムの開催

フォーラムの趣旨(大会パンフレットから)

「巨木や老樹の保護がふるさとの再認識や郷土愛につながり、地域の活力源になるものだと思います。人間が自然の調和を保ちながら、美しく豊かな風土を守り、そしてさらに創造していく時代ではないでしょうか。

悠久の時によって育まれた巨樹や巨木の林は、すばらしい景観の形成や野鳥獣の営巢の

場所になるなど自然環境保全上重要な価値を持つと共に、信仰の対象や地域のシンボルとして人々にやすらぎや潤いを与えてくれます。

巨木への理解を広め深めるためには、地道な努力が必要だと考え、全国フォーラムを通じ永く運動を展開し、推進をはかることが重要だと信じます。」

この趣旨でもって、中央からではなく、一地方から盛り上げてきた運動は珍しいと思う。この母体となる団体は、市町村単位のものの一部にできているようであるが、県単位のものがない。この運動によって、設立していこうとする波紋が広がっていく事を期待している。

全国で初めて、県単位の石川巨樹の会が設立されたためか、1カ年もたたない内に、“第3回巨木を語ろうフォーラム”の開催を引き受けることになった。

石川県・加賀市と本会の共催で、平成2年4月28、29日開催することに決まった。

正に短期決戦ではあったが、県内外に保護普及をPRするには、又とないチャンスであることを意識して取り組んできた。

当日は快晴で、全国（県内を含めて）から約700名が参加した。

「基調講演」は、作家・高田宏氏が、“森と人間”というテーマで行なわれた。

「パネルディスカッション」は、コーディネーターと6名のパネリストによって、巨木の関わりと保護について報告され、つづいて“巨木保護のために”をテーマに総合討論がなされた。

会場には、巨樹絵画展、写真展、小中学生の図画展等が展示された。

これらの内容をまとめて出版し希望者に頒布したほか、全国都道府県や県内市町村の担当課や県内の短大以上の学校等に寄贈した。

なお、巨木を語ろう全国フォーラムの経緯は次の通りである。

第1回、昭和63年10月26、27日 兵庫県氷上郡柏原町 氷上郡民会館。

第2回、平成元年10月26、27日 島根県隠岐郡西郷町西町 隠岐島文化会館。

第3回、平成2年4月28、29日 石川県加賀市 加賀市文化会館。

第4回、平成3年10月19、20日 静岡県函南町 中央公民館。

第5回、平成4年5月23、24日 山形県長井市（予定）

3. 巨樹探訪会

毎年、春と秋の2回、希望者を募って行っている。交通手段は、マイクロバス1台に自家用車という組合せで、大体30～40人が参加している。

講師は大体、本会の理事または専門委員が当たっている。

第1回（平成元年4月）金沢市内、金沢城跡と兼六園の巨樹、県（自然保護課）と共催、280名。

第2回（平成元年9月）石川郡白峰村太田、日本一の大トチ、60名。

第3回（平成2年4月）加賀市、鹿島の森・実盛塚の松等、50名。

第4回（平成2年10月）羽咋市・気多大社社叢、羽咋郡志賀町・浄蓮寺のイチョウ、鹿島郡鹿西町・鎌の宮タブ、石川県林木育種場・大王松等、30名。

第5回（平成3年5月）鳳至郡能都町、常椿寺のフジ・大峯神社のイチョウ等、40名。

金沢緑化協会の探訪会（平成3年6月）石川郡、白山麓の巨樹探訪、50名。

金沢緑化協会の探訪会（平成3年11月）羽咋郡の巨樹探訪、50名。

第6回（平成3年9月）鹿島郡鹿島町、石動山の巨樹探訪、40名。

4. 講演会又は研修会

本会の参与や専門委員の方々を講師にお願いしている。30～40人が出席している。

平成元年9月9日、巨樹と神木 宮司 太田辰己

平成2年6月9日、巨樹もろもろ 会長 里見信生

平成3年4月13日、樹木と民俗 文学博士 小倉学

平成3年6月7日～13日、新日本名木100選と石川巨樹名木写真展（読売会館）

平成3年8月24日、樹病と保護 農学博士 赤井重恭

平成3年10月20～21日、石川県農林漁業まつり 会場（県産業展示館）で巨樹写真展示。

平成3年7月20日～21日、石川県中小企業同友会創立15周年記念事業の会場で巨樹写真の展示。（県産業展示館）

5. 巨樹の診断指導

会員や関係機関からの要望により、本会の専門員が診断している。とくに、平成2年、公益信託 TaKaRaハーモニストファンドの助成をうけるようになって活発に行っている。

平成元年5月、中島町 白山神社のスダジイの老衰対策。

平成2年、羽咋市（国指定）気多大社の社叢林管理。

平成2年6月、羽咋市押水町（県指定） 妙法輪寺のナンテン保護。

平成2年、鹿島郡鹿島町（町指定）円光寺のキリシマツツジ、天日陰比咩神社のカエデの診断。

平成2年7月、羽咋郡富来町（町指定）七福のモチノキ等診断。

平成2年8月、羽咋郡志雄町（県指定）善正寺キクザクラ診断。

平成2年8月、羽咋市（県指定）ケタノシロキクザクラ診断。

平成2年9月、珠洲市・内浦町（市指定）ネズミサシ、タブノキの保護。

平成2年9月、能美郡辰口町、小松市、タブノキ、マツ診断。

平成2年9月、江沼郡山中町、スギ、イチョウ、ケヤキ診断。

平成2年9月、羽咋郡押水町、鹿島町、ケヤキ、スダジイ診断。

平成2年10月、金沢市、スギ、アカマツ、カン診断。

平成2年10月、金沢市（国指定）松月寺サクラ診断。

平成2年10月、加賀市（市指定）宗寿寺のスダジイ診断。

平成2年11月、金沢市、ラカンマキ診断。

平成3年4月、金沢市（市保存樹）等雲寺のアカマツ診断。

平成3年4月、羽咋郡志雄町（県指定）善正寺キクザクラ保護。

平成3年8月、羽咋市（県指定）ケタノシロキクザクラ診断。

平成3年8月、鳳至郡穴水町（県指定）来迎寺キクザクラ保護。

平成3年8月、珠洲市、ノトキリシマ診断。

平成3年9月、金沢市、尾山神社神木イスノキ保護。

平成3年9月、石川郡白峰村（県指定）太田の大トチ診断。

平成3年10月、奥能登地区指定木等の19号台風による被害調査と指導。

6. 天然記念物への指定

貴重な樹木又は樹林の指定を関係当局へお願いしている。

平成元年10月23日（県指定）石川郡鶴来町、金剣宮社叢ウラジロガン林。

平成元年12月22日（県指定）石川郡白峰村、太田の大トチ 日本一の大きさ。

平成2年3月23日（県指定）河北郡津幡町、御山神社社叢林 原生林。

平成2年9月26日（県指定）羽咋郡富来町、藤懸神社社叢ケヤキ林。

平成2年3月23日（県指定）七尾市庵町、伊影山神社のイチョウ 県1位の大きさ。

平成3年10月4日（県指定）輪島市深見町 ^{イチハラキタシロヒコ} 榎原北代比古神社社叢 原生林。

平成3年6月、石川郡尾口村、クリ、県下1位の大きさ、村指定木に要請中。

平成3年11月、石川郡白峰村、太田の大トチ 国指定天然記念物（答申中）日本一の大きさ。

7. 後継樹の育成

巨樹各木の保護と共に、その後継樹を育成していくことが大事なことである。このため県内の国、県、指定木と県外（日本海側）の国、特別天然記念物指定等の一部後継樹の育成を計画中である。

平成元年9月、太田の大トチ、播種。

平成3年4月（国指定）山形県熊野神社のスギ、^{ホウダシ}文下のケヤキを播種（県林木育種場）。

平成3年4月（県指定）善正寺キクザクラのバイテクによる増殖（県林業試験場へ依頼）。

平成3年10月（町指定）鳳至郡門前町、元祖アテ、（県指定）輪島市、伊勢神社の大スギ、（国指定）金沢市石川県庁前の堂形のシイの毬果を採取した。来春、石川県林木育種場で播種の予定。



研修会 樹病と保護
農学博士 赤井 重恭（本会参与）
（平成3年8月24日）



石川県農林漁業まつり 巨樹の写真展
手前は日本一の太田の大トチの模型
（平成3年10月20日～21日）



樹木診断指導 ケタノシロキクザクラ
千木技師、赤井博士、桜井権宮司

平成3年8月1日 巨樹いしかわ No. 5

巨樹いしかわ

1991 No.5

目次

- 樹木の心材腐朽(腐)と樹木の保護…赤井 重彦…2
- 高野の形が叫んでいる……………佐野 敦…5
- 巨樹探訪**
- 常磐寺の大フジを見るの記…………長谷川 昭…6
- 真鍮造師の巨樹……………今井 清保…7
- 大峯神社のイチョウのことなど…水島 治…8
- 巨樹を歌う……………今井 輝江…8
- 穴水町・熊野町指定天然記念物…………田中 敏之…9
- 樹木と民謡……………小倉 学…10
- また見付かった巨樹(4)……………林 正…14
- 秋季巨樹探訪会、巨樹だより……………15
- 第3回巨木を語ろうフォーラム
出版への後り……………15
- 巨樹の会日誌、運営総会……………16

常磐寺の大フジ 石川県指定天然記念物
熊野町守出津 (所有者又は管理者) 常磐寺
幹周 4.0メートル 根回り 6.2メートル 枝張り 60.0メートル
(写真 長谷川 昭)

(題字 里見信生)